

JIS

UDC 622.31-1:543:546.22

M 8817

石炭類の形態別硫黄の定量方法

JIS M 8817-1984

昭和 59 年 5 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

資源エネルギー部会 石炭・コークス 及び その分析試験方法専門委員会 構成表

	氏 名	所 属
(委員長)	木 村 英 雄	工業技術院公害資源研究所資源第1部
	安 藤 勝 良	資源エネルギー庁石炭部
	井 上 外志雄	東京大学工学部
	大 沢 祥 弘	財団法人石炭技術研究所第二研究部
	高 田 勝 行	社団法人燃料協会
	野 口 順 路	財団法人日本科学技術連盟
	卯 木 稔	工業技術院標準部
	佐々木 象二郎	大阪ガス株式会社総合研究所
	大 橋 脩 作	日本石炭協会技術部
	石 原 武 彦	三菱化成工業株式会社第一事業本部炭素事業部
	松 野 昌 平	東京ガス株式会社技術研究所
	小 島 武	三菱鉱業セメント株式会社大宮研究所
	西 田 清 二	関西熱化学株式会社研究所
	角 南 好 彦	住友金属工業株式会社中央技術研究所
	宮 津 隆	日本鋼管株式会社技術研究所
	青 木 茂 雄	川崎製鐵株式会社技術管理部
	平 本 克 房	新日本製鐵株式会社資源調査部
	宮 間 宣 幸	社団法人日本鉄鋼連盟原料部
	五十嵐 喜八郎	電源開発株式会社火力部
(事務局)	時 山 聖 司	工業技術院標準部材料規格課
	宮 崎 正 治	工業技術院標準部材料規格課

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 59.5.1

官 報 公 示：昭和 59.5.28

原案作成協力者：財団法人日本科学技術連盟

審 議 部 会：日本工業標準調査会 資源エネルギー部会（部会長 松本 敬信）

審議専門委員会：石炭・コークス 及び その分析試験方法専門委員会（委員長 木村 英雄）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 一般事項	1
2.1 試料	1
2.2 計量器	1
2.2.1 はかり及び分銅	1
2.2.2 量器	1
2.2.3 温度計	1
2.3 試薬及び水	1
2.4 分析結果の表し方	1
2.4.1 測定値のベース	1
2.4.2 測定値及び報告値	1
2.5 許容差	2
3. 全硫黄の定量方法	2
4. 硫酸塩硫黄の定量方法	2
4.1 方法の区分	2
4.2 要旨	2
4.3 装置及び器具	2
4.4 試薬	2
4.5 試料はかり取り量	3
4.6 操作	3
4.7 計算	4
4.8 分析回数	4
4.9 許容差	4
4.10 報告	4
5. 黄鉄鉱硫黄の定量方法	4
5.1 方法の区分	4
5.2 酸化法	4
5.2.1 要旨	4
5.2.2 器具	5
5.2.3 試薬	5
5.2.4 試料はかり取り量	5
5.2.5 操作	5
5.2.6 計算	6
5.2.7 分析回数	7
5.2.8 許容差	7
5.2.9 報告	7